

分野:統合分野 科目:在宅看護論臨地実習		単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	2年次～ 3年次
講師名	臨床指導者・臨床指導教員/保健師	実務経験	看護師・保健師		
授業概要	地域、社会で生活する人々の健康及び福祉について保健福祉センター、訪問看護ステーション、老人福祉施設の活動の現状を知ると共に在宅看護の機能と役割の実際を学ぶ。				
到達目標	1.在宅看護の現状と対象について理解する。 2.在宅看護の役割と援助の実際について理解する。				
授業計画	回	授業内容	授業方法	講師	
		在宅看護論Ⅰ(保健福祉センター)【30時間】 目的:地域保健活動の第一線機関である保健福祉センターにおいて地域で生活する人々の健康管理がどのように行われているか把握し、援助の方法を学ぶ。地域における看護活動の実際を学び、看護の継続性を考える。 目標 1)保健福祉センターの機能、活動の実際を学ぶ。 2)人々の健康の回復・保持・増進、疾病予防のためにいかなる保健衛生活動がなされているかを学ぶ。 3)施設内看護と地域看護との関連を知り、継続看護の必要性を理解する。	実習	臨床指導者 臨床指導教員	
		在宅看護論Ⅱ(訪問看護ステーション)【30時間】 目的:地域で在宅療養をしている人及びその家族への援助活動の実際を通して看護の役割を学ぶ。 目標 1)在宅看護の現状と対象について学ぶ。 2)在宅看護の役割と援助の 3)在宅看護のあり方について考えることができる。	実習	臨床指導者 臨床指導教員	
		在宅看護論Ⅲ(老人福祉施設)【30時間】 目的:在宅サービスを受けながら地域で生活をしている対象を理解し、介護老人福祉施設における看護の役割と在宅支援の方法を学ぶ。 目標 1)在宅サービスで施設を利用している対象者を理解する。 2)施設利用者との関わり方を通して、利用者との接し方を理解する。 3)施設利用者に合った日常生活の拡大、自立のための援助を学ぶ。 4)対象者の生活を支える職種との役割とその連携を理解する。	実習	臨床指導者 臨床指導教員	
使用テキスト等	医学書院 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論				
評価方法	目標に対する到達度と実習態度をA～Cの3段階で評価。評価項目の合計点数を評価項目で除し指導者50点満点、教員50点満点を足し合わせて100点評価とする。(臨床指導者評価50%、教員評価50%)				
※評価基準 A:50点非常に良い B:30点ほぼよい C:10点やや課題が残る ※在宅看護論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの評価を総合して3で除した成績を最終成績とする。					

分野:統合分野	科目:看護の統合と実践実習	単位 (時間)	2 (90時間)	開講 時期	3年次
	臨床指導者・臨床指導教員			看護師	
授業概要	看護チームの一員として業務を通して知識・技術・態度を統合し看護実践能力を身につける				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 複数患者を受持ち、看護援助の優先度が判断でき看護実践ができる。 2. チームの一員として看護活動の実際を理解できる。 3. 看護管理の実際を理解できる。 4. 治療・処置・検査に伴う技術を安全に実施できる。 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①実習前にオリエンテーションをうけ、事前学習を行い実習に臨む。 ②複数患者の受持 				
評価方法	実習要綱【看護の統合と実践臨地実習】参照(臨床評価50%、教員評価50%)				